

## 第8回図書館総合展セミナー報告書

# 情報検索指導法の初級編に引き続き，中級編も好評

日本図書館協会図書館利用教育委員会

## 情報検索指導における良い例題・悪い例題（中級編）

- 専門分野別データベースの特徴を紹介する方法 -

講師：仁上幸治（早稲田大学図書館）

日時：2006年11月22日(水)15:30-17:00 会場：パシフィコ横浜 図書館総合展フォーラム第6会場  
対象者：図書館職員、教職員、JLA 会員、関係団体、他 主催：日本図書館協会 参加費：会員 500円 / 非会員 1000円 申込先：cue@jla.or.jp 事務局担当久保木宛。氏名、氏名ヨミ、会員番号、所属、住所、電話番号、電子メールアドレス、例題づくりで困っている点、質問・要望など明記。 定員：170名(先着順) 締切：11月15日(水) 詳細：図書館利用教育委員会 <http://www.jla.or.jp/cue/>

### 【0】概要

日本図書館協会（企画・運営：図書館利用教育委員会）は、2006年11月22日、パシフィコ横浜で行われた第8回図書館総合展において、講演会を開催した。今回は、仁上幸治氏（早稲田大学図書館）を講師に迎え、「情報検索指導における良い例題・悪い例題（中級編）- 専門分野別データベースの特徴を紹介する方法 - 」というテーマで講演が行われた。

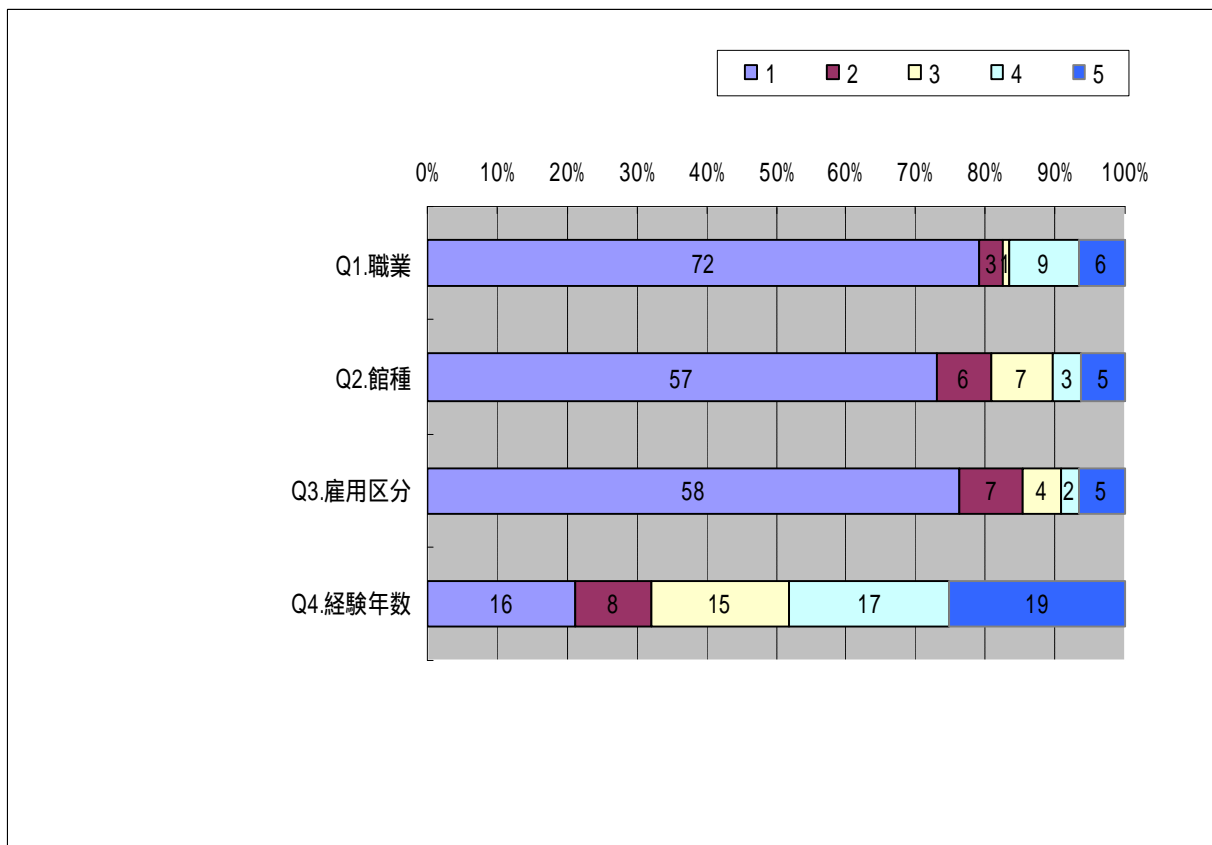
講演では、初級編の復習を行ったのち、利用者が検索できない理由、データベース講習会の内容、図書館の説明が分かりにくい理由、図書館員に求められる専門性について述べられた。このうち、図書館員に求められる専門性としては、要約力、表現力、説明力、指導力があると指摘された。最後に、情報リテラシー教育への貢献策として、データベースのシステム改良、授業科目と講習会との統合、司書課程の改革、研修の改善を提案された。講演後には、質疑応答が活発に行われた。

講演会には、大学を中心とした各館種の図書館員や教員など161名が参加した。アンケートでは、講演会に参加して「大変良かった」という回答が42%、「良かった」という回答が43.5%で、良いという評価が85.5%に上った。講演の感想としては、「テンポが良くてわかりやすい」「楽しくてためになる」「時間がもっとあれば良い」「初級編の時よりも具体的な例題が少ない」などがよせられた。

（春田和男：筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程）

## 【1】参加者データ

- 1)ご職業[ a)図書館職員 b)教員 c)学生 d)会社員 e)その他] 以下(2)-(4)は図書館職員の場合のみ  
 2)館種 [ a)大学図書館 b)短大図書館 c)公共図書館 d)学校図書館 e)専門図書館 f)その他の図書館  
 3)図書館での雇用区分 [a)専任 b)嘱託 c)派遣 d)臨時 e)委託 f)その他]  
 4)図書館勤務経験[ a)1～3年 b)4～5年 c)6～10年 d)11～20年 e)21年以上]

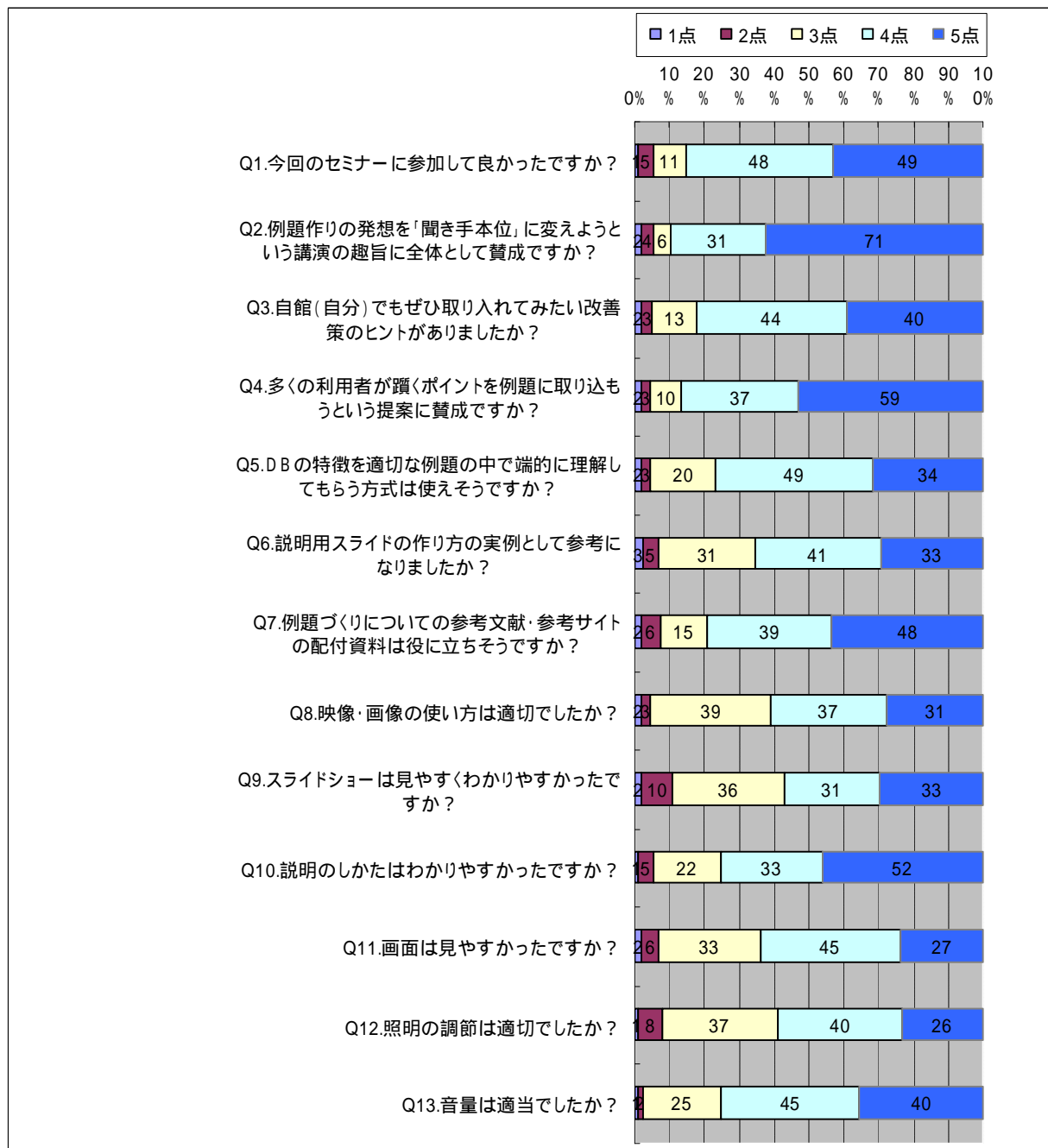


## 【2】評価結果

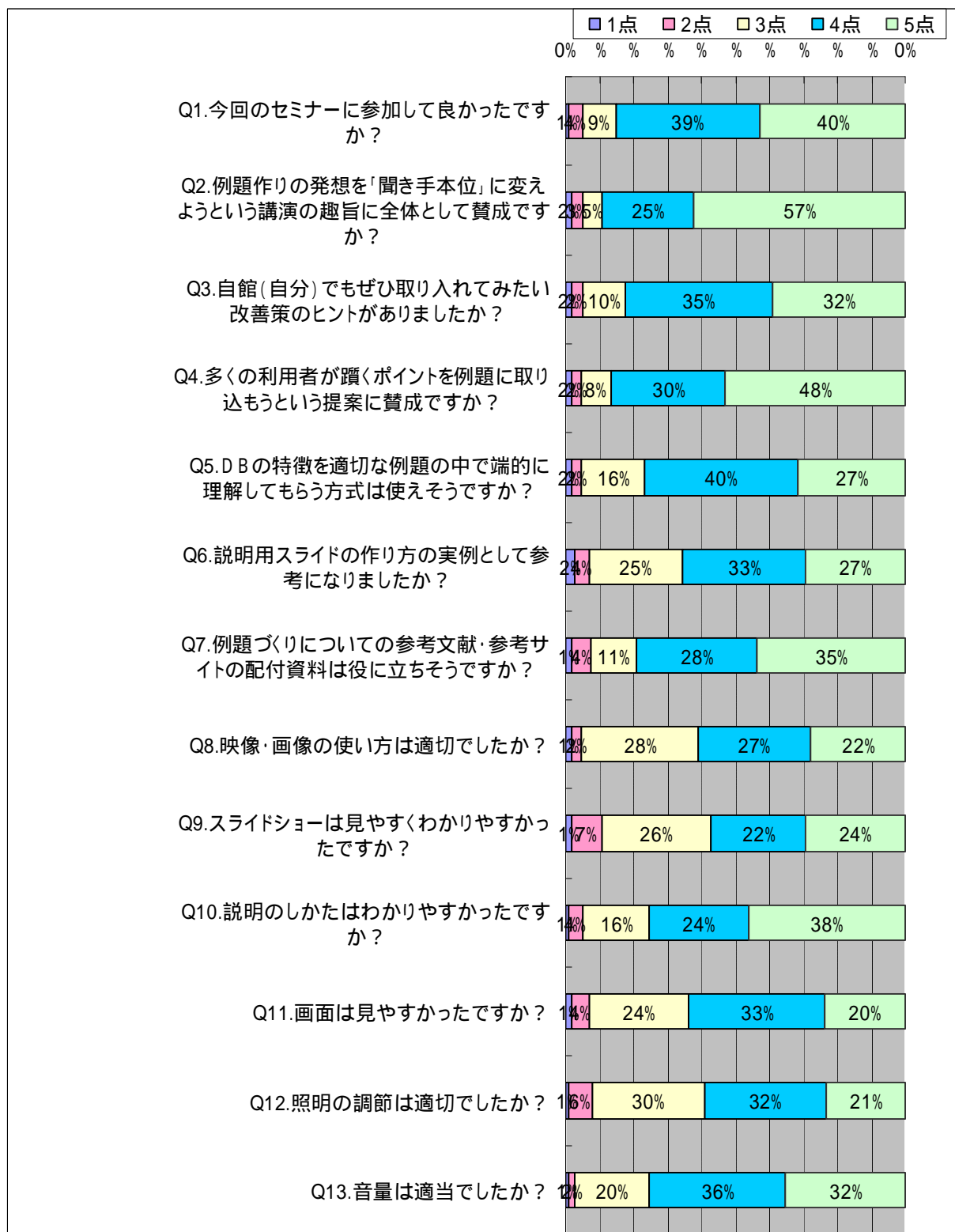
(-) 5段階評価 (+) 近いものをひとつで囲む

全然 あまり 普通 やや 大変

### (1) 人数



(2) 比率



\* 記述集計は別紙

以上 (2007.9.11 / 仁上幸治)